

— 第2日 9月20日(土) 15:30~16:30 —

ITL04 統合失調症の認知機能への神経心理学的研究

E301

講演者 富山大学 松井三枝

司会者 慶應義塾大学 小嶋祥三

要旨

統合失調症の神経心理学的研究は、観察された認知・行動障害の背景に脳機能障害があるという仮説によってすすめられてきた。統合失調症ではひとつの粗大な障害というよりいくつかの微細な障害ないしは障害の組み合わせが観察されることが多いため、より客観的な神経心理学的評価が重要となる。統合失調症への神経心理学的アプローチは標準化された検査を組み合わせ用いつつ、ひとつの分野として定着してきている。さらに、統合失調症に特徴的と思われる認知障害を実験神経心理学的観点から分析したり、神経心理学的所見と脳画像所見との関連を検討したり、認知課題施行中の脳機能画像を吟味することにより、統合失調症における認知機能障害のメカニズムが探求されてきた。本講演では、これまで明らかにしてきた統合失調症における認知障害の特徴とその神経基盤に関する研究成果を紹介し、今後の検討課題を考える。